

News Release

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

企画部 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-1-6

TEL：03-3273-0101(大代表)

www.msa-life.co.jp

2012年2月13日

平成23年度 第3四半期業績のお知らせ

三井住友海上あいおい生命保険株式会社（社長 佐々木 静）の平成23年度第3四半期（平成23年4月1日～12月31日）の業績をお知らせいたします。

※契約高、年換算保険料、当期純損益は、平成23年度4月～9月までの旧三井住友海上きらめき生命・旧あいおい生命2社の業績の合算値と三井住友海上あいおい生命の平成23年10月～12月の数値を合算して表示しております。また、前年度との比較においても、上記合併前2社の前年度の業績の合算値との比較となっています。

《 契約高 》

個人保険・個人年金の新契約高は2兆3,714億円（前年同期比14.1%増）となり、保有契約高は前年度末比7.0%増加し、以下のとおりとなりました。

- ◇ 個人保険・個人年金保険 1兆7,805億円
- ◇ 総保有契約高(含む団体保険) 2兆2,918億円

《 年換算保険料 》

個人保険・個人年金保険の新契約は336億円（前年同期比10.4%増）となり、保有契約は前年度末比4.6%増加し2,918億円となりました。なお、第三分野の保有契約は、前年度末比8.9%増加し511億円となりました。

《 当期純損益 》

当期の経常利益は19億53百万円を計上しましたが、合併関連費用98億53百万円の特別損失の発生、来年度以降の法人税率引き下げによる影響（△22億78百万円）等により当期純損益は102億25百万円の損失となりました。

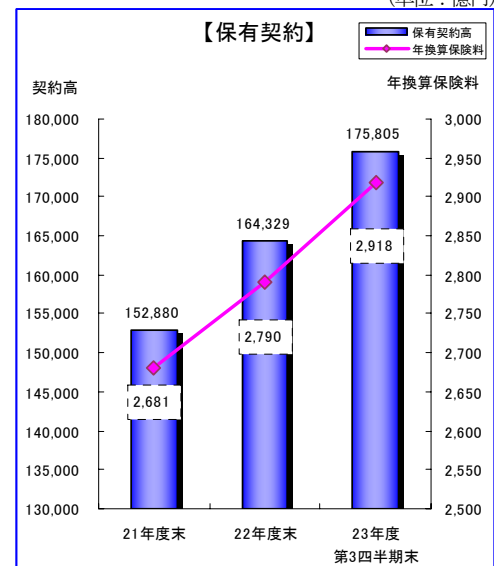
《 ソルベンシー・マージン比率 》

経営の健全性を示す指標であるソルベンシー・マージン比率は、2,203.2%、となり、合併前の2社同様に引き続き高い水準を維持しております。

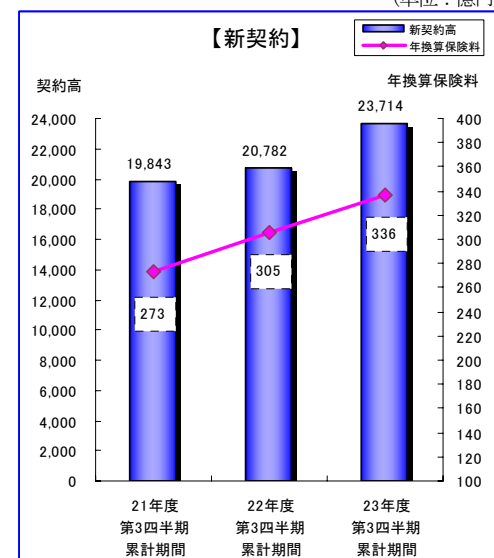
《 当社の格付け 》（2012年2月13日現在）

- AA- スタンダード&プアーズ(S&P) 保険財務力格付け
- AA 格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力格付け

(単位：億円)



(単位：億円)



本件に関するお問い合わせ先

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

企画部 広報グループ 森井・富吉 TEL 03-3273-8760
 経理財務部 主計グループ 鈴木・浅野 TEL 03-3273-0426



<< 目次 >>

本ニュースリリースの記載数値について	1 頁
I. 平成 23 年度 第3四半期業績<法定ベース>	
1. 主要業績	2 頁
2. 資産運用の実績(一般勘定)	3 頁
3. 四半期貸借対照表	5 頁
4. 四半期損益計算書	6 頁
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	9 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	10 頁
(参考)新基準によるソルベンシー・マージン比率	11 頁
7. 特別勘定の状況	11 頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	11 頁
(参考)証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況	11 頁
II. 平成 23 年度 第3四半期業績参考資料<2社合算ベース>	
1. 主要業績	12 頁
2. 四半期貸借対照表	13 頁
3. 四半期損益計算書	14 頁
4. 経常利益等の明細(基礎利益)	15 頁

本ニュースリリースの記載数値について

三井住友海上あいおい生命保険株式会社は、三井住友海上きらめき生命保険株式会社とあいおい生命保険株式会社の合併会社(合併期日:平成23年10月1日)であり、本ニュースリリースに記載の数値につきましては、原則として以下の通りとしております。

1. 「平成23年度第3四半期業績(P.2～P.11)」⇒ 法定ベース

①年度末残高等の状況を表わす項目

平成23年度第3四半期会計期間末は三井住友海上あいおい生命の数値を、平成22年度末は三井住友海上きらめき生命の数値を記載しています。

②期間損益等を表わす項目

平成23年度第3四半期累計期間は、平成23年4～9月の三井住友海上きらめき生命と平成23年10～12月の三井住友海上あいおい生命の数値を、平成22年度第3四半期累計期間は三井住友海上きらめき生命の数値を記載しています。

2. 「表紙(トップページ)」及び「平成23年度第3四半期業績参考資料(P.12～P.15)」⇒ 2社合算ベース

①年度末残高等の状況を表わす項目

平成23年度第3四半期会計期間末は三井住友海上あいおい生命の数値を、平成22年度末は三井住友海上きらめき生命とあいおい生命の単純合算値を記載しています。

②期間損益等を表わす項目

平成23年度第3四半期累計期間は、平成23年4～9月の三井住友海上きらめき生命及びあいおい生命と平成23年10～12月の三井住友海上あいおい生命を単純合算した数値を、平成22年度第3四半期累計期間は三井住友海上きらめき生命とあいおい生命の単純合算値を記載しています。

I. 平成23年度 第3四半期業績<法定ベース>

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	平成22年度末		平成23年度第3四半期会計期間末			
	件数	金額	件数	金額		
				前年度 末比	前年度 末比	
① 個人保険	1,280	98,107	1,999	156.2	168,856	172.1
② 個人年金保険	71	3,273	170	238.9	6,949	212.3
③ 団体保険	—	24,444	—	—	50,112	205.0
④ 団体年金保険	—	—	—	—	4	—
個人合計(①+②)	1,352	101,381	2,170	160.5	175,805	173.4
個人合計+団体保険 (①+②+③)	—	125,825	—	—	225,918	179.5

(注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	平成22年度第3四半期累計期間				平成23年度第3四半期累計期間					
	件数	金額			件数	金額				
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比		前年 同期比	新契約	転換による 純増加		
① 個人保険	180	12,824	12,824	—	196	108.7	16,781	130.9	16,781	—
② 個人年金保険	4	258	258	—	9	214.3	503	194.5	503	—
③ 団体保険	—	204	204	—	—	—	127	62.4	127	—
④ 団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
個人合計(①+②)	185	13,083	13,083	—	206	111.2	17,284	132.1	17,284	—

(注) 1. 新契約の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

2. 新契約の団体年金保険の金額は第1回収入保険料です。

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成22年度末	平成23年度 第3四半期 会計期間末	
		前年度 末比	前年度 末比
個人保険	182,700	252,702	138.3
個人年金保険	19,718	39,140	198.5
合 計	202,418	291,842	144.2
うち医療保障・ 生前給付保障等	39,653	51,105	128.9

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成22年度 第3四半期累計期間	平成23年度 第3四半期累計期間	
		前年 同期比	前年 同期比
個人保険	21,668	23,693	109.3
個人年金保険	1,472	2,686	182.5
合 計	23,140	26,380	114.0
うち医療保障・ 生前給付保障等	6,734	6,461	96.0

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

2. 「うち医療保障・生前給付保障等」欄には、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を記載しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円，％）

区 分	平成22年度末		平成23年度 第3四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	20,069	1.6	27,983	1.4
買現先勘定	-	-	14,998	0.7
債券貸借取引支払保証金	-	-	110,171	5.5
買入金銭債権	-	-	-	-
商品有価証券	-	-	-	-
金銭の信託	-	-	-	-
有価証券	1,163,725	93.7	1,774,161	88.2
公社債	1,132,746	91.2	1,736,631	86.3
株式	267	0.0	443	0.0
外国証券	30,712	2.5	36,228	1.8
公社債	30,712	2.5	36,228	1.8
株式等	-	-	-	-
その他の証券	-	-	858	0.0
貸付金	31,762	2.6	45,980	2.3
不動産	200	0.0	220	0.0
繰延税金資産	4,382	0.4	1,337	0.1
その他	22,423	1.8	36,749	1.8
貸倒引当金	△119	△0.0	△111	△0.0
合計	1,242,444	100.0	2,011,491	100.0
うち外貨建資産	31,040	2.5	36,635	1.8

（注）「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を表示しています。

(2) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位：百万円）

区 分	平成22年度末					平成23年度第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差 損 益		帳簿価額	時価	差 損 益			
			差益	差損			差益	差損		
満期保有目的の債券	532,649	550,852	18,203	19,033	829	571,960	606,480	34,519	34,520	0
責任準備金対応債券	4,099	4,308	209	209	-	-	-	-	-	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の有価証券	612,623	626,976	14,353	19,824	5,470	1,147,318	1,202,201	54,882	61,888	7,005
公 社 債	577,221	595,997	18,776	19,813	1,037	1,105,483	1,164,671	59,188	61,519	2,331
株 式	267	267	-	-	-	411	443	31	34	3
外 国 証 券	35,134	30,712	△ 4,422	10	4,432	40,424	36,228	△ 4,195	334	4,530
公 社 債	35,134	30,712	△ 4,422	10	4,432	40,424	36,228	△ 4,195	334	4,530
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-	999	858	△ 140	-	140
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	1,149,372	1,182,138	32,766	39,066	6,300	1,719,278	1,808,681	89,402	96,408	7,006
公 社 債	1,113,969	1,151,158	37,189	39,056	1,867	1,677,443	1,771,151	93,708	96,039	2,331
株 式	267	267	-	-	-	411	443	31	34	3
外 国 証 券	35,134	30,712	△ 4,422	10	4,432	40,424	36,228	△ 4,195	334	4,530
公 社 債	35,134	30,712	△ 4,422	10	4,432	40,424	36,228	△ 4,195	334	4,530
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-	999	858	△ 140	-	140
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含むこととしています。

- ・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は保有していません。

(3) 金銭の信託の時価情報

金銭の信託は保有していません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	平成22年度末 要約貸借対照表 (平成23年3月31日現在)	平成23年度 第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日現在)
		金額	金額
現金及び預貯金	(資産の部)	20,069	27,913
有価証券	（うち国債）	-	70
有価証券	（うち地方債）	-	14,998
有価証券	（うち社債）	-	110,171
有価証券	（うち株主債）	1,163,725	1,774,161
有価証券	（うち外国債）	(741,441)	(1,166,218)
有価証券	（うち社債）	(19,297)	(61,717)
有価証券	（うち株主債）	(372,007)	(508,695)
有価証券	（うち外国債）	(267)	(443)
貸付金	（うち外国債）	(30,712)	(36,228)
貸付金	（うち国内債）	31,762	45,980
貸付金	（うち地方債）	31,762	45,980
貸付金	（うち社債）	1,355	2,815
貸付金	（うち株主債）	2,256	3,304
貸付金	（うち外国債）	74	155
貸付金	（うち国内債）	175	101
貸付金	（うち地方債）	18,762	30,592
貸付金	（うち社債）	4,382	1,337
貸付金	（うち株主債）	△119	△111
資産の部合計		1,242,444	2,011,491

科目	期別	平成22年度 要約貸借対照表 (平成23年3月31日現在)	平成23年度 第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日現在)
		金額	金額
保険契約準備金	(負債の部)	1,177,711	1,785,425
支払準備金	（うち契約者配当準備）	13,371	16,785
支払準備金	（うち他）	1,162,128	1,761,840
代再そ	（うち店）	2,211	6,798
代再そ	（うち他）	2,295	3,566
代再そ	（うち他）	122	154
代再そ	（うち他）	6,829	116,123
代再そ	（うち他）	-	110,238
代再そ	（うち他）	1,576	-
代再そ	（うち他）	501	1,348
代再そ	（うち他）	125	139
代再そ	（うち他）	4,625	4,396
退職給付引当金		622	1,040
退職給付引当金		78	71
特別法上の準備金		1,858	2,849
価格変動準備金		1,858	2,849
負債の部合計		1,189,518	1,909,230
資産	(純資産の部)	35,500	35,500
資本剰余金		13,214	43,688
資本剰余金		13,214	13,214
その他の資本剰余金		-	30,473
利益剰余金		△4,953	△14,961
その他の利益剰余金		△4,953	△14,961
繰越利益剰余金		△4,953	△14,961
株主資本合計		43,760	64,226
その他の有価証券評価差額		9,164	38,033
評価・換算差額等合計		9,164	38,033
純資産の部合計		52,925	102,260
負債及び純資産の部合計		1,242,444	2,011,491

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成22年度 第3四半期累計期間 〔平成22年4月1日から 平成22年12月31日まで〕	平成23年度 第3四半期累計期間 〔平成23年4月1日から 平成23年12月31日まで〕
		金 額	金 額
経 常 収 益		190,933	243,557
保 険 料 等 収 入		174,284	222,900
（うち保 険 料）		（ 174,209 ）	（ 222,669 ）
資 産 運 用 収 益		16,234	19,333
（うち利息及び配当金等収入）		（ 15,630 ）	（ 19,070 ）
（うち有価証券売却益）		（ 604 ）	（ 253 ）
そ の 他 経 常 収 益		413	1,323
（うち支払備金戻入額）		（ - ）	（ 991 ）
経 常 費 用		195,778	240,796
保 険 金 等 支 払 金		94,475	99,294
（うち保 険 金）		（ 24,730 ）	（ 25,521 ）
（うち年 金）		（ 2,494 ）	（ 4,062 ）
（うち給 付 金）		（ 4,944 ）	（ 6,009 ）
（うち解 約 返 戻 金）		（ 61,197 ）	（ 62,579 ）
（うちそ の 他 返 戻 金）		（ 724 ）	（ 695 ）
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		67,092	96,613
支 払 備 金 繰 入 額		186	-
責 任 準 備 金 繰 入 額		66,905	96,613
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		0	0
資 産 運 用 費 用		656	2,416
（うち支 払 利 息）		（ 16 ）	（ 48 ）
（うち有価証券売却損）		（ 615 ）	（ 581 ）
（うち有価証券評価損）		（ - ）	（ 1,782 ）
事 業 費		30,898	39,154
そ の 他 経 常 費 用		2,655	3,316
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 （ △ ）		△ 4,845	2,761
特 別 利 益		3	2
固 定 資 産 等 処 分 益		3	2
特 別 損 失		1,433	8,160
固 定 資 産 等 処 分 損		15	35
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		190	283
そ の 他 特 別 損 失		1,227	7,841
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額		1,846	2,967
税 引 前 四 半 期 純 損 失		8,122	8,363
法 人 税 等		△ 2,785	△ 582
四 半 期 純 損 失		5,336	7,781

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

平成23年度第3四半期会計期間末

1. 会計上の変更

当第3四半期累計期間より、保険業法施行規則の改正に伴い、従来、特別利益に表示していた貸倒引当金戻入額を、資産運用収益に含めて表示しております。

2. 四半期特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、主として、税引前四半期純損失に一時差異等に該当しない差異の金額が重要な場合にはその金額を加減した上で法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

3. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の貸借対照表価額は、101,736百万円であります。

4. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ. 当期首現在高	2,211 百万円
ロ. あいおい生命保険株式会社からの受入額	3,475 百万円
ハ. 当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	1,855 百万円
ニ. 利息による増加等	0 百万円
ホ. 契約者配当準備金繰入額	2,967 百万円
ヘ. 当第3四半期会計期間末現在高	6,798 百万円

5. 共通支配下の取引等

当社は、平成23年3月29日開催の臨時株主総会で承認可決された合併契約書に基づき、平成23年10月1日にあいおい生命保険株式会社と合併し、商号を三井住友海上あいおい生命保険株式会社に変更いたしました。

合併に関する事項の概要は以下のとおりであります。

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

① 結合企業

名称	三井住友海上きらめき生命保険株式会社
事業の内容	生命保険事業

② 被結合企業

名称	あいおい生命保険株式会社
事業の内容	生命保険事業

(2) 企業結合日

平成23年10月1日

(3) 企業結合の法的形式

三井住友海上きらめき生命保険株式会社を存続会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

(5) 取引の目的を含む取引の概要

グループ中期経営計画「MS&ADニューフロンティア2013」にあげる5つの事業ドメインのうち、成長分野である国内生命保険事業において事業基盤を拡大させ、MS&ADインシュアランスグループとしての成長を加速させることを目的とするものであります。

なお、上記の合併につきましては、「企業結合に関する会計基準(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

6. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成23年10月1日付であいおい生命保険株式会社と合併いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間において、資本剰余金が30,473百万円増加、利益剰余金が2,226百万円減少し、当第3四半期会計期間末に資本剰余金が43,688百万円、利益剰余金が△14,961百万円となっております。

7. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

(追加情報)

(1) 法人税率の変更による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成 23 年法律第 114 号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成 23 年法律第 117 号)の公布に伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率 36.15%は、回収又は支払が見込まれる期間が平成 24 年4月1日から平成 27 年3月 31 日までのものについては 33.2%、平成 27 年4月1日以降のものについては 30.7%にそれぞれ変更されております。この変更により、繰延税金資産(繰延税金負債を控除した金額)は 712 百万円増加し、四半期純損失は 2,278 百万円増加しております。

(2) 有価証券の保有目的区分変更

あいおい生命保険株式会社との合併を機に資産運用方針を変更したことにより、平成 23 年 10 月 1 日付で、「責任準備金対応債券」として保有していた債券 358,183 百万円を「その他有価証券」へ保有目的を変更しております。この結果、従来の保有目的区分によった場合に比べ、その他有価証券評価差額金は 15,911 百万円増加し、繰延税金資産は 7,048 百万円減少しております。

注記事項

(四半期損益計算書関係)

平成 23 年度第3四半期累計期間

- 1株当たり四半期純損失は、8,105 円 27 銭であります。算定上の基礎である四半期純損失及び普通株式に係る四半期純損失はともに 7,781 百万円、普通株式の期中平均株式数は 960 千株であります。
なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純損失については、潜在株式がないため記載しておりません。
2. その他特別損失は、あいおい生命保険株式会社との合併関連費用 7,841 百万円であります。
3. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成22年度 第3四半期 累計期間	平成23年度 第3四半期 累計期間
基礎利益 A	△ 4,292	5,594
キャピタル収益	604	253
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	604	253
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	-	-
キャピタル費用	617	2,365
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	615	581
有価証券評価損	-	1,782
金融派生商品費用	-	-
為替差損	2	1
その他キャピタル費用	-	-
キャピタル損益 B	△ 13	△ 2,112
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△ 4,305	3,482
臨時収益	-	2
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	-
個別貸倒引当金戻入額	-	2
その他臨時収益	-	-
臨時費用	539	723
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	511	723
個別貸倒引当金繰入額	28	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	△ 539	△ 721
経常利益又は経常損失（△） A+B+C	△ 4,845	2,761

（注）平成22年度第3四半期累計期間においては、保険業法上の標準責任準備金積立に向けた積増額は、すべて基礎利益（費用項目）に含めて表示しています。
なお、当社は平成22年度末において、標準責任準備金の積立を完了しております。

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成22年度末		平成23年度 第3四半期 会計期間末
	三井住友海上 きらめき生命 保険(株)	あいおい生命 保険(株)	
ソルベンシー・マージン総額 (A)	133,423	77,149	244,869
資本金等	43,760	30,691	64,226
価格変動準備金	1,858	656	2,849
危険準備金	10,538	7,703	19,312
一般貸倒引当金	19	0	13
その他有価証券の評価差額×90%	12,918	3,207	49,394
土地の含み損益×85%	-	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	63,178	33,439	105,981
持込資本金等	-	-	-
負債性資本調達手段等	-	-	-
控除項目	-	-	-
その他	1,148	1,452	3,090
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	12,545	7,896	22,227
保険リスク相当額 R_1	6,825	4,893	12,399
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	2,181	1,173	4,117
予定利率リスク相当額 R_2	507	239	767
資産運用リスク相当額 R_3	7,475	4,469	12,725
経営管理リスク相当額 R_4	509	215	900
最低保証リスク相当額 R_7	-	-	-
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	2,127.0%	1,954.1%	2,203.2%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

<参考>実質資産負債差額

(単位：百万円)

項 目	平成22年度末		平成23年度 第3四半期 会計期間末
	三井住友海上 きらめき生命 保険(株)	あいおい生命 保険(株)	
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	1,260,857	560,564	2,046,010
負債の部に計上されるべき金額の 合計額を基礎として計算した金額 (2)	1,108,583	471,167	1,763,396
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	152,273	89,396	282,614
満期保有目的の債券・責任準備金対応債券の含み損益 (4)	18,412	13,209	34,519
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	133,860	76,186	248,094

(注) 1. 「実質資産負債差額A」は保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令第3条および平成11年金融監督庁・大蔵省告示第2号の規定に基づき算出しています。
2. 「実質資産負債差額B」は、「実質資産負債差額A」から満期保有目的の債券および責任準備金対応債券の時価評価額と帳簿価額の差額を控除したもので、上記1.の規定に加え保険会社向けの総合的な監督指針Ⅱ-2-2-6に基づき計算しています。
なお、有価証券の時価情報は4ページに記載しています。
また、各期末における流動性資産（現預金、コールローンおよびその他有価証券）は、以下の通りです。

平成22年度末：きらめき生命647,046百万円、あいおい生命133,967百万円

平成23年度第3四半期会計期間末：1,230,184百万円

(参考) 新基準によるソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成22年度末		平成23年度 第3四半期 会計期間末
	三井住友海上 きらめき生命 保険(株)	あいおい生命 保険(株)	
ソルベンシー・マージン総額 (A)	125,594	75,953	223,869
資本金等	43,760	30,691	64,226
価格変動準備金	1,858	656	2,849
危険準備金	10,538	7,703	19,312
一般貸倒引当金	19	0	13
その他有価証券の評価差額×90%	12,918	3,207	49,394
土地の含み損益×85%	-	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	63,178	33,439	105,981
負債性資本調達手段等	-	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性 資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△6,850	-	△18,750
持込資本金等	-	-	-
控除項目	-	-	-
その他	170	256	841
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	19,673	10,367	35,553
保険リスク相当額 R_1	6,825	4,893	12,399
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	2,181	1,173	4,117
予定利率リスク相当額 R_2	1,930	910	2,880
資産運用リスク相当額 R_3	14,689	7,144	27,022
経営管理リスク相当額 R_4	768	282	1,392
最低保証リスク相当額 R_7	-	-	-
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,276.8%	1,465.2%	1,259.3%

(注) 平成22年内閣府令第23号、平成22年金融庁告示第48号により、ソルベンシー・マージン総額及びリスクの合計額の算出基準について一部変更（マージン算入の厳格化、リスク計測の厳格化・精緻化等）がなされております。当該変更は平成23年度末から適用されます。上記は、仮に当該変更を平成22年度末及び平成23年度第3四半期会計期間末に適用したと仮定した場合の数値です。

7. 特別勘定の状況

該当する事項はありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当する事項はありません。

(参考) 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

該当する投資はありません。

Ⅱ. 平成23年度 第3四半期業績参考資料< 2 社合算ベース >

2 社単純合算値

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	平成22年度末		平成23年度第3四半期会計期間末			
	件数	金額	件数	金額		前年度末比
				前年度末比	前年度末比	
① 個人保険	1,837	158,091	1,999	108.8	168,856	106.8
② 個人年金保険	155	6,237	170	110.2	6,949	111.4
③ 団体保険	—	48,729	—	—	50,112	102.8
④ 団体年金保険	—	4	—	—	4	105.2
個人合計(①+②)	1,992	164,329	2,170	109.0	175,805	107.0
個人合計+団体保険 (①+②+③)	—	213,058	—	—	225,918	106.0

(注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	平成22年度第3四半期累計期間				平成23年度第3四半期累計期間					
	件数	金額		転換による純増加	件数	金額				転換による純増加
		新契約	転換による純増加			前年同期比	前年同期比	新契約	転換による純増加	
① 個人保険	249	20,207	20,207	—	252	101.6	22,694	112.3	22,694	—
② 個人年金保険	12	575	575	—	21	168.7	1,019	177.1	1,019	—
③ 団体保険	—	282	282	—	—	—	208	73.8	208	—
④ 団体年金保険	—	—	—	—	—	—	0	—	0	—
個人合計(①+②)	261	20,782	20,782	—	274	104.8	23,714	114.1	23,714	—

(注) 1. 新契約の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

2. 新契約の団体年金保険の金額は第1回収入保険料です。

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成22年度末	平成23年度第3四半期会計期間末	前年度末比
個人保険	242,840	252,702	104.1
個人年金保険	36,258	39,140	107.9
合 計	279,099	291,842	104.6
うち医療保障・生前給付保障等	46,934	51,105	108.9

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成22年度第3四半期累計期間	平成23年度第3四半期累計期間	前年同期比
個人保険	27,338	28,566	104.5
個人年金保険	3,191	5,132	160.8
合 計	30,529	33,699	110.4
うち医療保障・生前給付保障等	7,103	6,716	94.6

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

2. 「うち医療保障・生前給付保障等」欄には、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を記載しています。

2. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	平成22年度末 要約貸借対照表 (平成23年3月31日現在)	平成23年度 第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日現在)
		金額	金額
現金及び預貯金	(資産の部)	25,362	27,913
有価証券	一、ル、ロ、一、勘、保、証	554	70
貸借取引支払保証券	現借取引支払保証券	11,095	14,998
有価証券	債権	26,535	110,171
(うち国内)	(債権)	1,637,414	1,774,161
(うち地方)	(債権)	(1,071,519)	(1,166,218)
(うち社外)	(債権)	(50,051)	(61,717)
(うち株)	(債権)	(481,591)	(508,695)
(うち外)	(債権)	(567)	(443)
貸付金	国付証券	(33,683)	(36,228)
貸付金	金付	44,664	45,980
有無代再繰	形、固、定、資	44,664	45,980
繰上り	延、倒、引、当	1,850	2,815
繰上り	延、倒、引、当	3,866	3,304
繰上り	延、倒、引、当	129	155
繰上り	延、倒、引、当	791	101
繰上り	延、倒、引、当	28,699	30,592
繰上り	延、倒、引、当	9,002	1,337
繰上り	延、倒、引、当	△168	△111
資産の部合計		1,789,798	2,011,491

科目	期別	平成22年度 要約貸借対照表 (平成23年3月31日現在)	平成23年度 第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日現在)
		金額	金額
保険契約準備金	(負債の部)	1,659,930	1,785,425
支責任者配当準備金	支責任者配当準備金	18,248	16,785
代再繰上り	代再繰上り	1,635,893	1,761,840
代再繰上り	代再繰上り	5,788	6,798
代再繰上り	代再繰上り	3,695	3,566
代再繰上り	代再繰上り	341	154
代再繰上り	代再繰上り	36,456	116,123
代再繰上り	代再繰上り	27,089	110,238
代再繰上り	代再繰上り	1,576	-
代再繰上り	代再繰上り	501	1,348
代再繰上り	代再繰上り	139	139
代再繰上り	代再繰上り	7,149	4,396
退職給付引当金	退職給付引当金	865	1,040
役員退職慰労引当金	役員退職慰労引当金	104	71
特別法上の準備金	特別法上の準備金	2,514	2,849
価格変動準備金	価格変動準備金	2,514	2,849
負債の部合計		1,703,908	1,909,230
資本剰余金	(純資産の部)	65,500	35,500
資本剰余金	資本剰余金	13,688	43,688
資本剰余金	資本剰余金	13,688	13,214
資本剰余金	資本剰余金	-	30,473
資本剰余金	資本剰余金	△4,736	△14,961
資本剰余金	資本剰余金	12	-
資本剰余金	資本剰余金	△4,748	△14,961
資本剰余金	資本剰余金	△4,748	△14,961
株主資本合計	株主資本合計	74,451	64,226
その他の有価証券評価差額	その他の有価証券評価差額	11,437	38,033
評価・換算差額等	評価・換算差額等	11,437	38,033
純資産の部合計		85,889	102,260
負債及び純資産の部合計		1,789,798	2,011,491

3. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成22年度 第3四半期累計期間 〔平成22年4月1日から 平成22年12月31日まで〕	平成23年度 第3四半期累計期間 〔平成23年4月1日から 平成23年12月31日まで〕
		金 額	金 額
経 常 収 益		280,500	307,891
保 険 料 等 収 入		255,690	281,560
(うち保 険 料)	(254,789)	(281,237)
資 産 運 用 収 益		23,900	24,419
(うち利息及び配当金等収入)	(22,528)	(23,954)
(うち有 価 証 券 売 却 益)	(1,372)	(455)
そ の 他 経 常 収 益		909	1,910
(うち支 払 備 金 戻 入 額)	(-)	(1,463)
経 常 費 用		282,188	305,937
保 険 金 等 支 払 金		125,914	122,007
(うち保 険 金)	(33,092)	(32,950)
(うち年 金)	(3,223)	(4,702)
(うち給 付 金)	(8,478)	(8,473)
(うち解 約 返 戻 金)	(78,483)	(74,216)
(うちそ の 他 返 戻 金)	(1,278)	(851)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		105,533	125,948
支 払 備 金 繰 入 額		1,150	-
責 任 準 備 金 繰 入 額		104,381	125,947
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		1	1
資 産 運 用 費 用		1,200	2,644
(うち支 払 利 息)	(29)	(61)
(うち有 価 証 券 売 却 損)	(745)	(583)
(うち有 価 証 券 評 価 損)	(-)	(1,782)
(うち金 融 派 生 商 品 費 用)	(1)	(-)
事 業 費		45,853	51,302
そ の 他 経 常 費 用		3,686	4,034
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)		△ 1,687	1,953
特 別 利 益		3	2
固 定 資 産 等 処 分 益		3	2
特 別 損 失		2,572	10,300
固 定 資 産 等 処 分 損		22	111
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		258	334
そ の 他 特 別 損 失		2,290	9,853
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額		3,423	3,808
税 引 前 四 半 期 純 損 失		7,679	12,153
法 人 税 等		△ 2,603	△ 1,927
四 半 期 純 損 失		5,075	10,225

2社単純合算値

4. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成22年度 第3四半期 累計期間	平成23年度 第3四半期 累計期間
基礎利益 A	△ 1,333	4,792
キャピタル収益	1,747	734
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	1,372	455
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	375	279
キャピタル費用	1,096	2,505
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	745	583
有価証券評価損	-	1,782
金融派生商品費用	1	-
為替差損	350	139
その他キャピタル費用	-	-
キャピタル損益 B	650	△ 1,770
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△ 683	3,021
臨時収益	-	2
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	-
個別貸倒引当金戻入額	-	2
その他臨時収益	-	-
臨時費用	1,004	1,070
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	927	1,070
個別貸倒引当金繰入額	77	0
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	△ 1,004	△ 1,067
経常利益又は経常損失（△） A+B+C	△ 1,687	1,953

- (注) 1. 平成22年度第3四半期累計期間においては、保険業法上の標準責任準備金積立に向けた積増額は、すべて基礎利益(費用項目)に含めて表示しています。
 なお、当社は平成22年度末において、標準責任準備金の積立を完了しております。
2. その他キャピタル収益は全額、責任準備金繰入額のうち外貨建保険商品に係る責任準備金の為替変動による減少額であります。

以上